



インゴットとコイン 人気高騰

新たなプラチナコインの発行で投資家・コレクターの選択広がり
プラチナコインの人気に拍車

2023年、プラチナインゴットとコインの需要は49%増えて、3年ぶりの15.8トンという高い水準になる予測だ。北米と欧州の製造元はそれに応えるため既に生産量を増やしており、おかげで来年のプラチナ投資全体の需要予測はポジティブに戻って、ネットで6.6トンとなる。

英国王立造幣局によると、今年に入って投資用のプラチナを初めて購入する顧客は、昨年よりも15%増えている。

来年に向け同造幣局は投資用の新たなプラチナ地金製品のラインを広げ、英国の伝説をもとにした初のシリーズとなる「ザ・ロビン・フッド2023」1オンス地金コインを発行する。裏面は弓矢を手にしたロビン・フッドがシャーウッドの森で今にも動き出しそうなりリーフ、表面はこれで最後となる5つ目のエリザベス2世の肖像となっている。

ロビン・フッドの伝説にちなんだコインは今後さらに二つ予定されており、マリアン姫と忠臣リトル・ジョンが登場する。

もう一つの新たなコインは、「ザ・イエール・オブ・ビューフォート2023」1オンスプラチナ地金コインで、同造幣局の「ロイヤル・チューダー・ビースト」コインコレクションの、最初の「ザ・ライオン・オブ・イングランド2022」1オンスプラチナ地金コインに続く2番目のコレクションとなる。このシリーズは、ハンプトン宮殿の堀を跨ぐモートブリッジに立つ10の聖獣をかたどった石像がモチーフで、それらはチューダー王朝のヘンリー8世と3番目の王妃のジェーン・シーモアの婚礼記念として王位継承を誇示する目的で選ばれている。



2023 プラチナパンダ30gコインの裏面（左）と表面（右）

プラチナパンダ、2023年に再び登場

中国では、二年連続で国のアイコンとも言えるパンダをモチーフにした貴金属記念コインにプラチナが加えられることになった。プラチナは昨年初めて、2005年から発行されているこのシリーズに加えられた。

2023年のコインは14種類、そのうちプラチナは30グラムと3グラムの2種類のプラチナプルーフコインで、それぞれ5000枚と3万枚発行される。コインは全て純度99.9%のプラチナ製、販売は中国金貨総公司が行う。

2023 パンダコインの表面は天壇の祈年殿、裏面は木を登る可愛い二匹のパンダが描かれている。

Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution,

bclifford@platinuminvestment.com Edward Sterck, Research,

esterck@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com



免責条項: © 2022 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案・勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>
当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。